

インターナショナルスクール誘致に向けた 候補地取得の調整状況と開設事業者の募集予定

1 要旨

- ・静岡市は、子どもの教育の場の確保による子どもの学びの選択肢を広げると共に、高度外国人材の確保を目的として、インターナショナルスクールの誘致を目指しています。
- ・2025 年 4 月 24 日の記者会見で発表したとおり、静岡市は、インターナショナルスクールの最適地として、静岡県所有の「果樹研究センター跡地(清水区駒越西)」(以下「果樹研跡地」)の確保を目指し、静岡県と協議を進めていました。
- ・この跡地の活用は、利用可能な用地が不足している静岡市における未利用・低利用の土地等の有効活用、地域経済の活性化という公共的な価値も有しています。このことから、静岡市は、土地の購入については、市が 100% 出資する(一財)静岡市土地等利活用推進公社(以下「公社」)が静岡県から購入する方向で調整を行ってきました。
- ・8月22日に静岡県と公社が、果樹研跡地売買に係る仮契約を締結しました。静岡県は、土地の売却にあたっては、県議会の議決を用する案件であることから、果樹研跡地売買に係る議案(果樹研跡地の所在地、面積、売却価格を掲載)が、静岡県 9 月議会で審議される予定です。
- ・この果樹研跡地売買に係る議案が県議会で可決された場合は、静岡市は、果樹研跡地にてインターナショナルスクールの開設及び運営を担う事業者の募集を行います。具体的な募集要項等は、後日、静岡市のホームページ等で公表する予定です。

【これまでの経緯】

2023 年 11 月	・静岡商工会議所から市へ「雇用の多国籍化・高度外国人材登用に係るインターナショナルスクール誘致に関する要望」の提出
2024 年 3 月	・市と静岡商工会議所による「静岡市インターナショナルスクール誘致推進協議会」を開催。インターナショナルスクール誘致の考え方を整理
4 月	・市は、誘致に向けたサウンディング型市場調査を実施。複数の民間企業がインターナショナルスクールの開設に関心をもつことを確認
5 月	・市と商工会議所にインターナショナルスクールの実現可能性を確認するため、関心を持つ企業からの相談や支援要請を受け付ける「支援チーム」を設置
9 月	・関心を持つ民間事業者から市へ、インターナショナルスクール開設の「意向表明書」提出。県所有の果樹研跡地を最適用地とし、その確保に向けた市の支援を要請
2025 年 4 月	・市は、果樹研跡地がインターナショナルスクールの適地であると判断
8 月	・静岡県と公社が、果樹研跡地売買に係る仮契約を締結
9 月	・静岡県が果樹研跡地売却議案を静岡県の9月議会に上程

【次頁あり】

2 想定されるインターナショナルスクールの概要

- ・果樹研跡地の広大な敷地と、富士山と駿河湾の景観、豊かな自然を生かし、市内・県内のみならず、県外・海外からの入学を誘引する世界最高水準の国際教育を提供するインターナショナルスクールの開校を想定しています。
- ・インターナショナルスクールの開校時期は、事業者の判断となりますが、現段階では 2028 年 9 月の開校を想定しています。
- ・静岡市は、海洋分野の研究開発や次世代産業の拠点化を進めており、インターナショナルスクールが開設されることは、高度外国人材を惹きつける要素の一つとなります。

【候補地(果樹研跡地)の概要】

所在地:静岡市清水区駒越西二丁目 12 番 10 号ほか

実測面積:70,317.27 m²



対象地位置図 ©Google



対象地位置図 ©Google

3 今後のスケジュール

静岡県議会において、果樹研跡地売却議案が可決された場合は、議決日以降に果樹研跡地にてインターナショナルスクールの開設及び運営を担う事業者の募集を開始し、年内を目途に候補者を決定する予定です。

担当:総合政策局 企画課(054-221-1612)